

団体		代表者	1 跡施設の活用の要望		2 その他
種別	団体名	代表者名	花見川第二中小学校	花見川第二小学校	要望等
PTA、保護者会	花見川第一小学校PTA	会長 竹内恭子	・グラウンド拡大 ・障害者福祉、ハローワーク、生活相談、などの受付窓口 ・売却して校舎など処分 ・幼高障一体型の施設	・新設中学校の第二グラウンド ・公民館を新設 ・障害者福祉、ハローワーク、生活相談、などの受付窓口 ・公園	—
PTA、保護者会	花見川第二小学校PTA	会長 大塚義生	○第二中近隣に住む住民の声を最優先に尊重し、活用方針を決定する。 ・コミュニティー施設、スポーツ場等を併用し、地域住民が交流を促せる施設が望ましい。	○今ある施設を利用して、地域住民が優先して集える場所とする。 ・統合校の教育活動において、利用可能な施設にする。 ・コミュニティー、スポーツ、学習、福祉、児童支援等で地域住民が交流を促せる施設とする。 ・防災拠点とし、避難場所、備蓄等の役割に対応できる施設とする。 ・第二小の歴史、記念品、資料等、足跡を展示する施設を設置す	・活用方針の決定については、事前に説明会等を実施し、地元自治会及び近隣住民等の同意を得る。 ・方針決定後は、環境保全、治安対策のため、空白期間が生じる事のないよう速やかに実行する。
PTA、保護者会	花見川第三小学校保護者と教師の会	会長 齋藤直美	・避難所、防災関連での活用 ・校庭、体育館の開放(スポーツ、行事での活用)	・避難所、防災関連での活用 ・校庭、体育館の開放(統合した中学校の部活使用含む)	・民間業者には売却しない。
PTA、保護者会	柏井小学校PTA	会長 石井祐路	—	・建物は、高齢化時代になっているので、老人ホームや図書館など子供から高齢者まで幅広い年齢の方々がいつでも利用できる複合施設にする。 ・グラウンドは、隣接する統合校の部活動の数が増えることから、拡張し整備するとともに形を整える。	—
PTA、保護者会	花島小学校PTA	会長 西田しのぶ	○高齢者や子供のための施設 ・地域で誰でも利用できる施設(きぼーの様な施設) ・コミュニティー施設	・グラウンドを残し、第一中と広く使う。 ・高齢者施設。	・避難場所として残せる施設にする。 ・スポーツのできる施設。(グラウンドや体育館を整備して残す) ・仮設住宅を作る場所としてグラウンドを残す。
PTA、保護者会	花見川第一中学校PTA	会長 今野義宏	—	・統合校のグラウンドが狭いので、生徒が使用できるようにする。 ・地域の中学校として長く子どもたちを受け入れることを考え、隣接する統合校のグラウンドの拡充等を検討して検討する。 ・もともと避難所になっているので、災害時などに体育館等を活用できる状態で残す。 ・グラウンドは、普段は地域で活用できるように、また部活動や駐輪場として統合校が使用できるようにする。 ・特別支援学校、不登校サポート施設。 ・避難所。 ・スポーツ施設	—
PTA、保護者会	花見川第二中学校保護者と教師の会代表	会長 吉田元子	・子供達の遊びの施設(特に雨の日集まれる施設) ・スポーツ活動で使用する。(体育館も含む) ・地域の小中学生が試合で使えるようにする。 ・ゲートボールなどに開放する。	・体育館、校庭を統合校で使用する。 ・建物を地域のサークルやコミュニケーションの場として開放する。 ・近隣が暗く人通りが少ないので活気づけるために、子供達が遊べる場所にする。	・民間業者等へ売却しない。 ・周辺には市が所有する施設が多数存在するので、膨大な負債がある市の財政状況を考え、売却または賃貸して負債を減少させる。
青少年育成委員会	花見川第一中学校区青少年育成委員会	会長 段木和彦	・学校の防災拠点としての役割を維持し、商業施設や高層マンションにはしない。 ・公民館、保育施設、介護施設、病院、文化センター、ゲートボール・グラウンドゴルフ場、高齢者施設、幼老一体型施設。 ・高齢化で特養の特機が増えるので、高齢化施設にする。若い人の雇用の場にもなる。 ・特別支援学校の定員が大幅に不足しており、障害の種類によっては遠くまで通わなければならないので、特別支援学校を入れる。 ・幼老だけでなく障害を持った人も集えるコミュニティー施設をつくる。 ・老人が元気になるような施設をつくる。 ・リハビリテーションセンターのような施設をつくる。	・柏井高校になっている避難場所まで高齢者が避難するのは難しいので、第二小に戻す。 ・学校の防災拠点としての役割を維持し、商業施設や高層マンションにはしない。 ・公民館、保育施設、介護施設、病院、文化センター、ゲートボール・グラウンドゴルフ場、高齢者施設、幼老一体型施設。 ・高齢化で特養の特機が増えるので、高齢者施設にする。若い人の雇用の場にもなる。 ・特別支援学校の定員が大幅に不足しており、障害の種類によっては遠くまで通わなければならないので、特別支援学校を入れる。 ・第二小があったことを示す第二小の歴史ブースのようなものを設ける。 ・幼老だけでなく障害を持った人も集えるコミュニティー施設をつくる。 ・老人が元気になるような施設をつくる。 ・リハビリテーションセンターのような施設をつくる。	—
青少年育成委員会	花見川第二中学校区青少年育成委員会	会長 藤井賢	・地域コミュニティなど関連に活用(防災用避難場所、避難所及び地域住民の活動交流場所) ・福祉に関連する活用(高齢者支援施設、障害者福祉施設) ・子育てに関連する活用(子育て支援施設) ・スポーツなどに関連する活用(校庭・体育館の利用継続) ・民間への売却はしない(全て地域へ還元する)	・地域コミュニティなど関連に活用 ・福祉に関連する活用 ・子育てに関連する活用 ・スポーツなどに関連する活用(校庭・体育館の利用継続) ・民間への売却はしない(全て地域へ還元する)	・民間へは売却禁止(厳守)。全てを地域に開放する。
町内自治会	花見川団地自治会	会長 黒田實	・施設の耐震強度不足などの理由で簡単に撤去せず、計画的に補強をすすめて使用できるようにする。 ・大地震などの非常事態に対応できる施設がきわめて不足しているので、そうした事態に対応できる施設にする。トイレ改良・増設など高齢の利用者等に対応する設備の充実を図る。 ・高齢化が急ピッチで進行しており、対認知症施設からグラウンドゴルフ会場まで高齢者が自由に使える施設の必要度が増していることから、高齢者が気軽に使える施設にする。 ・高齢者をはじめ、青少年・主婦等の健康志向が高まっており、健康づくりに気軽に使える施設を要望する声が強くなっていることから、グラウンド、体育館だけでなく教室等も使えるようにする。	・第二小が跡地になるH29年以降に、地域状況の変化で新たな要望が出た時は要望内容を見直す。 ・決定に際しては、地元住民と十分話し合い、一方的に方針を出すことは絶対にしない。	
町内自治会	花見川南自治会	会長 大関洋四郎	・体育館を残す。 ・耐震工事をした校舎は高齢者関係施設と保育施設に活用する。	・体育館を残し、他は売却する。	—
町内自治会	花見川住宅自治会	会長 早坂昭男	—	・震災時に人命を守る避難場所として整備する。(地域の防災活動の拠点と位置付け、既に避難場所運営委員会を設置し施設を活用している。) ・体育館、校庭は地域のコミュニティ・スポーツ団体等が利用できるようにする。(青少年健全育成促進と地域の活力を生み出す。) ・校舎は地域の子ども、子育て世帯、高齢者、団体等が利用できる様整備する。高齢化が進み、65歳以上の高齢化率44.5%が生活している現状を踏まえ、特別養護老人ホーム等介護系と地域の施設として整備する。	・施設は地域住民の利用を第一条件として整備する。特に住民の同意なしに施設の売買は絶対しない。
町内自治会	鷹の台自治会	会長 原田雅男	○校舎等は全て撤去し、高齢者福祉総合施設を建設する。 ・特別養護老人ホーム(80人収容)1棟 ・サービス付高齢者向け住宅(100室)1棟 ・居宅サービス施設(老人短期入所施設、通所介護施設等) ・認知症サービス施設 ・医療関連施設(在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等) ・子育て支援施設、施設内保育所 ・地域交流スペース(地域住民の集会、講演会場、催し物会場等) ・災害時避難行動要支援者収容施設	・第一中に隣接し、将来第一中の生徒数が増加に転ずる可能性もあることから、第二小の敷地(16,000㎡)のうち隣接部(3,000㎡)を第一中校庭(協議会等でもテニスコート等使用要望が出ていた)として分割する。 ・第二小残地(13,000㎡)は、建造物全て撤去し公園化する。3,000～4,000㎡は芝生のグラウンドゴルフ場(芝刈り機等の維持管理は利用団体間で交替で行う)とし、高齢者の健康づくりに活用。 ・災害時の花見川団地の広域避難場所に指定する。	・二中、二小とも花見川団地再生につなげるという視点で捉える。
町内自治会	ニュー花見川ショッピング自治会	会長 段木和彦	・大通りにありバス停も近くにあることから立地条件が良いため、在宅介護にも適したバリアフリーで2世帯、3世帯で住めるマンション、住宅の開発ができる事業者委託または売却する。	・校舎は一部耐震化した部分もあるので、公民館移設も視野に入れ、障害者施設、高齢者相談窓口等も含め、複合的なコミュニティー施設とする。 ・体育館は耐震化しており、避難所や地域のスポーツ振興の観点から残す。 ・校庭は中学校の校庭が手狭なため、一部拡張して使用できるようにする。	—
地元任意団体	スポーツ振興会	会長 黒田実	・体育館で地域のバレーボール大会を開催する。 ・グラウンドで、ソフトボールやグラウンドゴルフの練習や試合を行う。	・体育館で地域のバレーボール大会を開催したり、バレーボールやバスケットボール等の練習をする。 ・グラウンドで、ソフトボールやグラウンドゴルフの練習や試合を行う。	・教室を再利用する。
町内自治会	北柏井町内会	会長 斉藤勇	—	・第一中青少年育成委員会の中で要望 ⇒ 柏井高校になっている避難場所まで高齢者が避難するのは難しいので、第二小に戻す。	—
町内自治会	花島町内会	会長 小石川博光	・第一中青少年育成委員会の中で要望 ⇒ 学校の防災拠点としての役割を維持し、商業施設や高層マンションにはしない。(公民館、保育施設、介護施設、病院、文化センター、ゲートボール・グラウンドゴルフ場、高齢者施設、幼老一体型施設。)	・第一中青少年育成委員会の中で要望 ⇒ 学校の防災拠点としての役割を維持し、商業施設や高層マンションにはしない。(公民館、保育施設、介護施設、病院、文化センター、ゲートボール・グラウンドゴルフ場、高齢者施設、幼老一体型施設。)	—
町内自治会	八千代台パークハイム自治会	会長 橋田富貴光	・第一中青少年育成委員会の中で要望 ⇒ 高齢化で特養の特機が増えるので、高齢化施設にする。若い人の雇用の場にもなる。	・第一中青少年育成委員会の中で要望 ⇒ 高齢化で特養の特機が増えるので、高齢化施設にする。若い人の雇用の場にもなる。	—

種別	団体名	代表者名	花見川第二中小学校	花見川第二小学校	要望等
町内自治会	南柏井町内会	会長 齋藤茂	未回答	未回答	未回答
町内自治会	柏井新田町内会	会長 佐藤忠治	未回答	未回答	未回答
町内自治会	追館自治会	会長 南雲正晴	未回答	未回答	未回答
町内自治会	新鷹の台第一自治会	会長 南保順作	未回答	未回答	未回答
町内自治会	新鷹の台第二自治会	会長 瀬沼清	未回答	未回答	未回答
町内自治会	芦太山自治会	会長 中村俊一	未回答	未回答	未回答
町内自治会	柏井北自治会	会長 滝沢邦夫	未回答	未回答	未回答
町内自治会	千代の台自治会	会長 富士田英夫	未回答	未回答	未回答
町内自治会	天戸町睦会	会長 兵藤弘	未回答	未回答	未回答
町内自治会	天戸町第二自治会	会長 関下良樹	未回答	未回答	未回答
町内自治会	ソレイユ鷹の台自治会	会長 梨本トキ子	未回答	未回答	未回答
町内自治会	天戸町秋田杉自治会	会長 坂本道雄	未回答	未回答	未回答
町内自治会	ライオンズマンション千葉鷹の台自治会	会長 武田誠	未回答	未回答	未回答
町内自治会	花柏住宅自治会	会長 池田浩幸	未回答	未回答	未回答
町内自治会	油居花見川アーバンコンフォート自治会	会長 石塚国栄	未回答	未回答	未回答
町内自治会	八千代台ハイソ管理組合自治会	会長 丸山晴夫	未回答	未回答	未回答
社会福祉協議会	花見川地区部会	会長 原田雅男	未回答	未回答	未回答
社会福祉協議会	花見川第二地区部会	会長 黒田實	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	花見川第一小学校	会長 瀬尾誠	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	花見川第二小学校	会長 真治裕	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	花見川第三小学校	会長 代見秀夫	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	柏井小学校	会長 富士田英夫	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	花島小学校	会長 植月寛	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	花見川第一中学校	会長 大川喜一	未回答	未回答	未回答
学校体育施設開放運営委員会	花見川第二中学校	会長 熊谷真利子	未回答	未回答	未回答